

未来に向けた変化成長

すいか部会 小玉スイカ・大玉スイカ出荷

営農部 山野

品質・食味良好「きくちすいか」出番！ 5月に出荷最盛



小玉スイカが2月から、大玉スイカが3月から出荷が始まりました。すいか部会では、熟度判定を確実にするために、交配日に色毛糸をつるに掛ける方式を取り入れています。色毛糸は10色で、交配日の色分けをし、毛糸の色別に出荷日を決めています。出荷前には、定期的に査定会を開き糖度、色味、食味などを部会員が参加し検討しています。

※出荷は6月上旬まで続きます。



小玉スイカ選果



大玉スイカ査定会

メディアでアピール「サツマイモ」「イチゴ」

総務部・営農部

菊池産品をテレビ・新聞で紹介 プレスリリース発信強化

1月から3月に出荷最盛期を迎えた「サツマイモ」「イチゴ」をアピールするため報道機関へプレスリリースを発信。サツマイモは、大田黒甘藷部会長、豊岡副部会長が対応し、部会カンショをアピール。イチゴは、集荷場を中心に荷受けの様子などを撮影。担当の森職員が部会イチゴをアピールしました。

※他の作物においても最盛期にはプレスリリースでの発信、SNSでの発信を行っています。



北営農センター
イチゴ集荷場



大田黒部会長
豊岡副部会長
甘藷をPR

市場取引会議・市場督励「菊池水田ごぼう」「アスパラガス」

営農部

市場に出向き出荷計画を協議、販売強化へ

出荷本番を前に、部会役員が取引市場に足を運び産地状況や生産者の想いを伝え、出荷計画について協議しました。アスパラガスは2月に県内市場へ、3月には東組合長と共に名古屋・大阪方面へ出向き市場関係者へのお礼や激励を行いました。ゴボウは3月に東京へ出向き市場関係者と協議。GIシンポジウムにも参加しました。

※市場との取引会議は、部会ごとに担当職員が部会役員と共に行っています。生産者の想いや現場の状況をしっかり伝え有利販売が出来るように力を入れています。



春ゴボウ取引会議



アスパラガス取引会議



市場関係者へあいさつする東組合長